

07 絵札の構図を考える

日時：1回目 平成27年4月21日（火）

2回目 平成27年4月28日（火）

*いずれも10:00～12:00

場所：泉南市埋蔵文化財センター

参加人数：1回目9名、2回目8名

■イメージにぴったりの絵の構図を考える

カルタの絵札の絵を「どんな絵にするのか」を考えるワークショップです。

作画担当は「写真をもとにして絵をおこす」ので、書いてほしい絵を写真で表現する必要があります。手順は①読み札のキーワード、説明文を読む、②うかんでくる風景や絵柄を羅列、③それらを組み合わせて、④絵柄を決めるといったもの。1回目に考えたイメージに合わせた写真を、2日目までに用意す



る必要があるので、1週間間隔をあけて2日間実施しました。「ヨコながの絵札があったら面白い」など話し合いの中で出た意見も、併せて考えることにしました。

■ここまでの話し合い

話し合いで決まった49個の「カルタにして伝えたい泉南の魅力」。肝心の絵札の絵、読み札の句が出来上がっていません。読み札の句は、市内の小学校で作ってもらえます。絵札の絵は、作画担当に描いてもらうのですが…構図を指定する必要があります。

■絵を描く側の意見

以前にご紹介しましたがもう一度、念のため。作画担当の職員と、絵をかいってもらうにあたっての注意点、スケジュールなどを話し合いました。絵は、手描きの水彩画で、かわいらしく親しみやすい感じの絵です。

描いてほしい絵の構図を写真で渡す

絵を描く方法は、写真をそのままぞって、描くことに。ですので、アングルや大きさ、細部の細かいところも、思った通りの写真を用意する必要があります。

写真の大きさははがき程度のもの

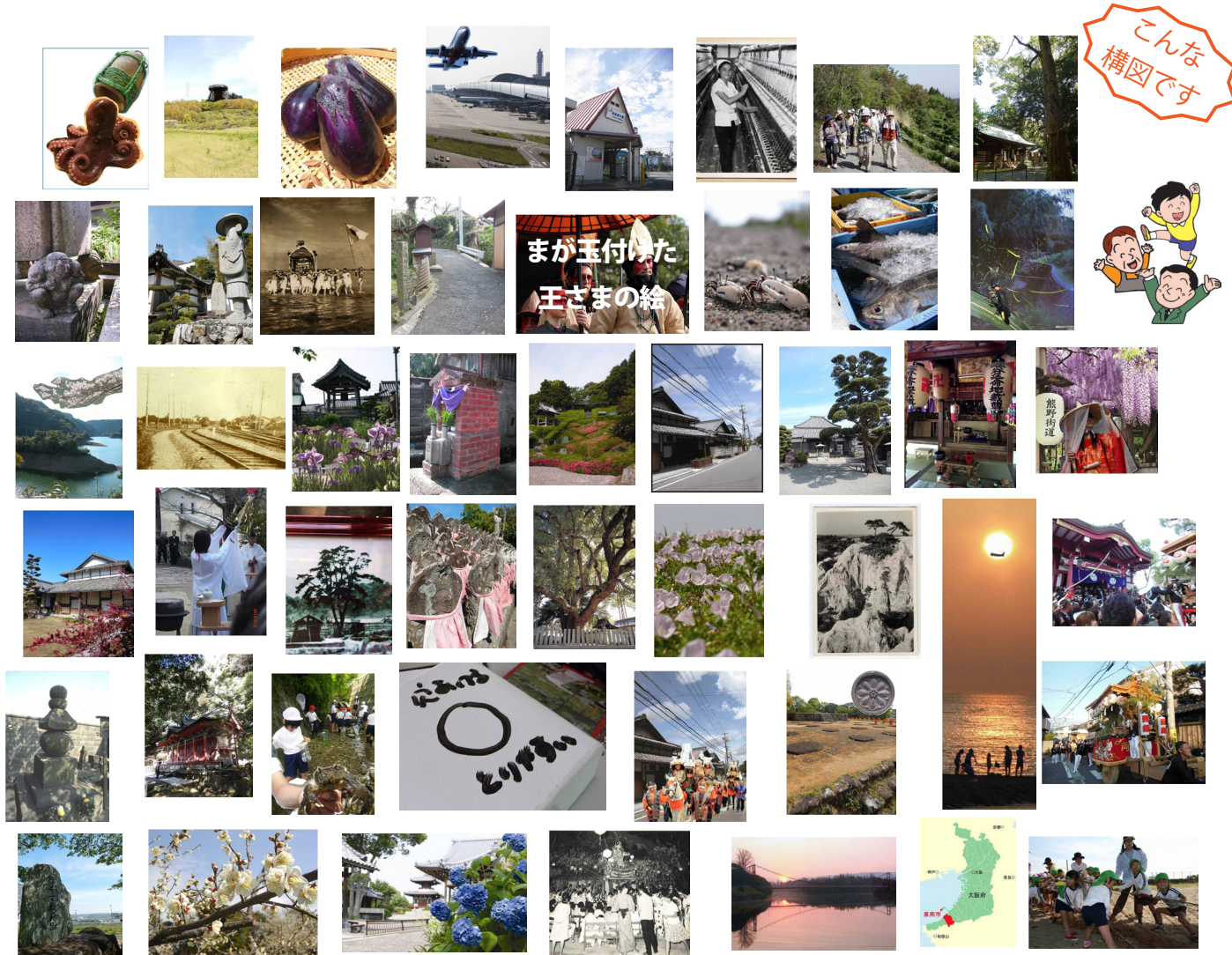
大きい写真のほうが、細かいところも表現できる



のでは？と思われるはず。でも、カルタにするときは、両辺が10センチ未満。縮小する必要があるので、こまかく描いても、結局真っ黒になってしまいます。

絵の完成は9月が目標

すべての絵が出そろうのは、9月頃。できあがった絵から、埋蔵文化財センターに展示するほか、『広報せんなん』でも、小学生の句と併せて紹介する予定です。



縦の絵も横の絵もある絵札

2回の話し合いで、48枚分の絵札のもとになる写真のイメージを決定しました。

大切にしたのは、元となる写真の構図。縦で統一すると、奥行きのあるヨコ方向の写真は台無しになるので「ヨコもある方がいい!」ということで、絵札は、縦も横もある絵を描いてもらうことにしました。

絵札の文字は控えめに

また、絵札の文字が入る場所は、統一せずに、絵ができてから、一番邪魔にならないところに入れることにしました。控えめに表記することにしました。いまのところは、文字は活字で、明朝体がいいのではないのか?といった意見が出ています。

電線や、ガードレールを、消す、消さない

写真に写りこむガードレールや電線などの扱いも考えました。「消してしまおう(絵には入れないでおこう)」と考えたのは、たとえば「ハイキングコースいっぱい」の写真のガードレールや、「街道いっぱい」の電線など。ない方がいいのではとの意見からです。反対に、電線なども描いた方がいいのでは、となっ

たのが「熊野紀州街道」の電線など。今のまちなみをそのまま表現したいとの意図からです。

湯気や、色、強調するところ

種河神社の湯神楽の写真には、お湯の湯気がおぼろげに映っているだけです。湯があることを強調した方がいいので、絵を描くときには湯気を書き足すことにしました。

このような「欲張りな希望」を、各写真に書き込み、作画担当と連休明けに打合せする予定です。

箱の底に穴をあけよう!

見本のカルタを手にとっているうちに、ある方が提案してくれたアイデアです。カルタを箱から取り出すとき、箱ごとひっくり返すなどとてもとりにくいので、指を入れて「スマート」に出せるようにしたらどうだ?という移建。ぜひとも取り入れたいアイデアです。

一緒にカルタづくりをしてみたい方、大歓迎です
問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで
TEL:072-483-6789
メールアドレス: maibun@city.sennan.lg.jp

次回は「カルタのデザイン」。箱や札のデザインを考えます
ワークショップを9月に2回、実施します(予定)。日程は『広報せんなん』等でお知らせします!